**日本のスポーツの歴史**

M4R 28 藤田崇太

**キーワード**:スポーツ、メジャースポーツ、江戸時代

**動機**

現代日本のスポーツは、サッカーや野球などの非常にシェア率が高い印象がある。そのため、今までの日本がどのようにスポーツと向き合っていったのか興味があったため。

**内容**

**・日本のスポーツの始まり**

　最も古い記録として、狩猟の合間に狩猟道具を用いて技を競い合っていたとするものが残っているが、ルールのある運動や競技が行われるようになったのは飛鳥時代の頃である。

平安時代に公家の間で行われていた蹴鞠を遊びや運動のために行うようになった。

**・スポーツを楽しむ概念が加わった時期**

　鎌倉時代には武士の間で武芸としての剣術や格闘術、弓術や馬術、そして、相撲や綱引きといった競技が行われるようになった。しかし、楽しむことが目的では無く、宗教的な儀式や年中行事で行うことが多かった。特に江戸には多くの遊びを目的としたスポーツが存在したとされ、大々的な競技会が開催された記録も残っている

**・スポーツの概念ができた時期**

　前述のとおり、ルールのある運動や競技を楽しむ概念が加わったのは江戸時代であるが、スポーツの概念が加わったのは明治維新後に様々な文化が入ってきた時である。

**・日本スポーツの特徴**

　日本では、体育の授業を通じてスポーツが取り入れられたことから、体を動かすことがスポーツであるというイメージが定着しているため、体を動かさない運動をスポーツと呼ぶことに抵抗がある人も多い。また、テレビの普及に伴い、スポーツを観戦して楽しむ文化が広がっている。そして、テレビで放送されるスポーツがメジャーなスポーツとして認識されるようになる。

**所感**

　今回のレポートを通して、日本スポーツの特徴が明確に知ることができた。改めて、テレビやネットの普及によって人々がどのようなスポーツがあるのか知りやすくなっているように感じた。現代日本でマイナースポーツが脚光を浴び始めていることに現実味を感じることができた。

参考文献

1, https://halftime-media.com/sports-market/sports-history-1